

村上市(自治振興課)の取組について

1 スクールバス混乗事業について

(1) 目的

交通資源の乏しい地域の市民への移動手段の提供とスクールバスの有効活用を目的として、スクールバスへの住民の混乗事業の実証運行を行います。

本事業は、「通常のスクールバスの運行に支障を来さない運行」、「既存の公共交通機関と重複しない運行」を前提として行うものです。

(2) 対象地域

山北地域をモデルケースとして実施します。

(3) 対象集落〔12集落〕

岩崎、中浜、伊呉野、北黒川、荒川、浜新保、桑川、笹川、板貝、今川、脇川、越沢

(4) 利用対象者

上記の対象集落に居住する方で、自分でバスの乗降ができる方です。なお、利用の際は、事前登録及び事前予約が必要です。

(5) 実証運行の実施期間

令和4年4月～令和5年3月(学校が休業の日及び夏季・冬季長期休業期間中は運行しません。)

※ 各学期の終業式終了後、実証運行の状況・課題を整理し、次の学期の運行時に課題等の修正を行いながら正式な混乗事業実施に向けた整理を行います。

(6) 利用料金 無料

2 山北地域の公共交通再編調査検討業務(案)について

(1) 目的

村上市地域公共交通計画に基づき、山北地域における交通空白地・不便地域の解消に向けて、地域特性や公共交通の現状を踏まえ、持続可能な地域内公共交通ネットワークを形成するため、利用者ニーズの把握や今後の具体的な方策を調査検討するものです。

(2) 実施内容(調査検討の流れ)

- ① 検討チームの立ち上げ※任意組織
- ② 実態の把握と現状分析
- ③ 既存資料のとりまとめと新しい運行計画案の検討
- ④ 実証的運行のモニタリング調査と分析

(3) 実施方法

調査検討業務を専門家に委託することで、上記の実施内容を円滑に進めます。

3 まちなか循環バス、せなみ巡回バスのオープンデータ公開について

(1) 経緯

国土交通省では、インターネット等の経路検索におけるバス情報を拡充するため、バス事業者と経路検索事業者との間でデータ受渡のための「標準的なバス情報 フォーマット」を定めました。

村上市では、バス利用者の利便性向上のため、まちなか循環バス、せなみ巡回バスのオープンデータ※¹（標準的なバス情報フォーマット）を整備し公開しました。

※¹ オープンデータとは、国、地方公共団体、事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネットを通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）ができるよう公開されたデータのこと。

ここでいうオープンデータとは、国土交通省が定めたバス情報フォーマットである「GTFS-JP形式※²」により公開されたデータのこと。

※² GTFS形式（General Transit Feed Specification）とは、経路検索サービスや地図サービスへの情報提供を目的としてアメリカで策定された世界標準の公共交通データフォーマットのこと。

(2) オープンデータ整備のメリット

公共交通機関の利用者等にとって、インターネット上の経路検索サイト及び地図アプリで経路、運行時間並びに運賃などが、事業者や地方自治体の垣根を超えて現在地から目的地までの一体的な検索が可能となります。

4 バス待合所の管理について

(1) 行政財産（公共交通係所管施設）として、適正な維持管理を行うため、協議会から村上市へ移譲した財産。譲与年月日は、令和3年12月21日。

①村上市役所前バス待合所（所在地：村上市三之町650番31地内） 1棟

②イヨボヤ会館前バス待合所（所在地：村上市塩町5390番5外地内） 1棟

(2) 教育委員会で整備した施設を自治振興課所管施設として管理。

所管替え年月日は、令和4年1月12日。

①村上小学校前バス待合所（所在地：村上市三之町702番地内） 1棟